

ICHIKAWA ART CITY 暮らしの中にアートを感じるまちに

本市では、アートがあるまち市川をめざしまちなかでのアート展示やイベントを通じ、作品とまちの魅力を同時に楽しめるまちづくりに取り組んでいます。今号では、その取り組み(ICHIKAWA ART CITY)についてご紹介します。

☎712-8557文化芸術課



▲KUGURU展で展示される公募アーティストの暖簾

アート作品の展示

KUGURU展

3月1日(火)～27日(日) 大門通り、市川手児奈通り、市川駅前西通りなどで開催

昨年に続き2回目となるKUGURU展では、JR市川駅から真間エリアにある約70の参加店舗に、公募アーティストが手掛けた暖簾を飾り、真間山弘法寺への参道をアート作品を展示する“ギャラリー”に変えます。色とりどりの暖簾を見て、くぐって、散策すれば、終着点の真間山弘法寺で立体アート作品を見ることができます。



関連イベント KUGURU MARCHE

3月12日・26日いずれも土曜日、正午～午後4時、商店会有志によるマルシェを開催予定。



▲昨年の様子。今年は昨年よりも多い暖簾のほか、立体アートが楽しめます

参加アーティスト INTERVIEW

KUGURU展が 地元市川にアーティストとして 関わるきっかけに

市民アーティスト 外川麻未さん

友人からの勧めでKUGURU展への参加を決めました。大門通りを歩いていると、所々不意に古代を感じました。過去と現実の風景のイメージを組み合わせ、建物の内外をつなぐような暖簾を制作しました。KUGURU展をとおして、地元の市川にアーティストとして関わるのが面白かったです。このような企画が継続されることを願っています。今後はさらに地域と関わる芸術活動をしていきたいと思っています。



▲大門通りで展示される暖簾

ICHIKAWA ART CITY とは

昨年からさまざまな企画を実施している ICHIKAWA ART CITY。アーティストが制作した暖簾でまちを彩る KUGURU展やさまざまなイベントを通じアートに触れられるまちづくりを行っています。また、アーティストを招き、作品制作を行うアーティスト・イン・レジデンスを通じ、アーティストの活動を支援しています。活動の様子は ICHIKAWA ART CITY オンラインサイトで見る您可以通过 (右記2次元コード参照)。



アーティスト・イン・レジデンス

Nakayama AIR



3月12日(土)～27日(日) 法華経寺と参道で成果展覧会を開催

公募アーティストを中山エリアに招き、作品制作を支援するアーティスト・イン・レジデンス Nakayama AIR。令和3年12月から鬼高と高石神のアトリエで3人のアーティストが作品制作に取り組んでいます。展示のほか、アーティスト滞在中のアトリエ公開やワークショップなどのイベントを通じたアーティストとの交流が楽しめます。



A レジデンスアトリエ(鬼高)

公募アーティスト INTERVIEW



新たな挑戦としての NAKAYAMA AIR

アーティスト 川田 龍さん

これまで滞制作に参加したことがなく、自分自身の良い変化につながるのではないかと感じ、参加しました。西洋の古典絵画から着想を得て制作した作品が法華経寺とどう反応を起こすのか、今からとても楽しみです。

鬼高のアトリエは、とてもきれいで過ごしやすく、モチベーションが上がります。アーティストが制作しやすい環境を提供してくれるこういった取り組みを今後も続けてほしいと思います。



▲アトリエで制作中の川田さん

他にもこんな制作が行われています

このアトリエでは絵画制作だけでなく、法華経寺の境内で撮影した動画制作の編集も行われています。実際にその地の環境や歴史、人々に触れることで浮かぶアイデアもあるそうです。



▲アトリエで制作中の大船秀樹さん

2月7日(月)～20日(日)の期間中アーティスト滞在時はアトリエを見学できます。事前予約は不要ですが、アーティストが不在しているときもあります(午前10時～午後5時)。☎ 鬼高2-12-39(専用駐車場はありません)

B ワorkshopアトリエ(高石神)

市民と一緒に作品をつくる

古着や布を使った作品づくりを行う彫刻家の大川友希さん。アトリエや地元の学校などで市民と交流しながらワークショップを行っています。ワークショップを通じて制作した作品は3月の成果展覧会で法華経寺に展示されます。

2月は少人数でのワークショップ(予約制)を実施するほか、みなさんが自宅で作ったのぼり旗を募集します。作品は3月に法華経寺で展示されます。



▶ワークショップ申し込み、のぼり旗の作り方はこちらから



3月に法華経寺で成果展覧会が行われます

1月11日～21日には第1庁舎1階ファンクションルームでのアート作品の展示、1月16日には、コルトンホールでアーティストを招いたトークショーが行われました。3月12日(土)～27日(日)には計6人のアーティストの作品が法華経寺を彩ります。



▲アーティストトークの様子

▲原倫太郎さんが制作した「ジオメトリックピンポン」